

令和4年度学校運営方針

【基本方針】

本校教育の根幹を成す「世のため、人のため」の精神のもと、本校独自の館風である「質朴剛健、不羈独立、自由闊達」をもつ修猷文化であたたく育み、社会の変化や生徒の実態に機動的に対応する体制を確立し、一人ひとりの生徒が未来社会を切り拓くために求められる資質・能力の育成を推進する。

【長期目標】

1 「全人教育」を中心に据えた教育活動の実践

- (1) 後世に文化を継承していく使命と責任を自覚し、知性と感性が調和した人間力豊かで実践的行動力を持つ生徒を育成する。
- (2) 内面的自覚を促し、節度ある生活の中で礼儀と倫理観を育てるとともに、正義感をもって主体的に行動し、自らの責任を果たす生徒を育成する。
- (3) 日本の公教育の強みを生かした教育活動を推進し、福岡県・日本を代表する高等学校としての在り方を生徒、教職員ともに追究する。

2 次代の国際社会や日本を担う人材、グローバル・リーダーの育成

- (1) 社会的な視座に立つ教育活動を展開することにより、世界の現実を直視し、自己の使命を果たそうとする高い志と国際的素養を持った生徒を育成する。
- (2) 生徒の可能性を伸ばし、主体的に進路を選択できる能力・態度を育むことで、10年後・20年後の進路実現に結びつけられるよう支援する。

3 教育における先進性と地域における教育の役割を見据えた改革の推進

- (1) 知識と技能の習得、思考力、判断力、表現力の深化、学びに向かう力と人間性の伸長を促すとともに、求められる資質・能力を社会と共有し連携する「社会に開かれた教育課程」を実践する。
- (2) 地域の小学校、学習塾等と連携し、小学校及び小学生の保護者向けの広報活動を充実させ、地域のニーズを踏まえた新たな教育実践を創造する。

【年度重点目標と具体的目標】

1 組織機能の活性化

- (1) 組織マネジメントの充実に向け、校務分掌・学年の業務を精選し、多様な人材活用によりミドルリーダーを育成する。併せて、多様化・複雑化する課題に対し学年・分掌を超えた「Team」を結成しその解決に努める。
- (2) カリキュラムマネジメントの充実のため、新学習指導要領に対応して変更した教育課程、学習評価法、時制等の検証を行うとともに、前期の区切り「大運動会」・学年の総仕上げとなる後期の「大文化祭」の二大学校行事を軸に、学校暦の更なる充実を図る。

2 逞しい骨太の生徒育成（「修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ」）

- (1) 修猷アイデンティティ（自治的・主体的行動、文武両道、豊かな知性、知の統合、豊かな人間性の涵養）と実践的行動力（逞しさ、創造性、協働性、リーダーシップ・フォロワーシップ、自浄力）を育成する多様な場や仕掛けを設定する。
- (2) 「知性の刺激、失敗を恐れない学び、語りの文化」等、人と人とのかかわりの中で学ぶ修猷文化を活用し、生徒の未来を切り拓く多様な資質・能力を伸ばすために、挑戦、自他の個性の理解、命の大切さ、自尊感情・人権感覚、誇りと自信を重んじながら、成年年齢引き下げ等にも適切に対応する。

3 教師としての使命を果たす

- (1) 本校が目指す生徒を育成するために、教師一人ひとりが各自のこだわり・個性を最大限発揮し、生徒に「根拠なき自信」や挑戦への意欲を持たせる等、自らが修猷文化を醸成すると自覚を持つ。
- (2) 自ら進んで研究と修養に努め、教養・幅広い知識・専門性の向上を図る。特に深い学び、ICTを取り入れた新たな学びを駆使し、上質の授業を展開する。